

大会プログラム

(指定の無い場合、会場はすべて主会場 3401 教室)

大会 1 日目 (11 月 30 日 (土)) 午前

8:30～ 受付開始 (3419 教室)

9:20-25 開会の辞

大会会長 須田斎 (東海大学)

9:25-30 開催校代表者挨拶

大会事務局 郷司正彦 (東海大学)

9:30-10:50 研究発表 【座長：村川治彦 (関西大学)・渡邊勝之 (一般社団法人いのちクリエイション)】

9:30-9:50 船木祝 (札幌医科大学)

「利害関係と精神化の葛藤—高齢期を生きるために」

9:50-10:10 市川きみえ (千里金蘭大学)

「女性の出産選択はいかに保障されるのか—「プライベート出産」の実態調査からみえた助産所の衰退—」

10:10-10:30 田中実 (六角田中医院)

「生命とは何か—その本質と起源—」

10:30-10:50 杉岡良彦 (上野病院)

「いのちと倫理をめぐる問い—人格主義生命倫理学に関する医学哲学的考察—」

11:00-12:20 研究発表 【座長：渡邊勝之 (一般社団法人いのちクリエイション)・鮎澤聡 (筑波技術大学)】

11:00-11:20 金子武良 (金子指圧治療院)

「冷え性に対する指圧の効果」

11:20-11:40 大門正幸 (中部大学)

「子どもが語る中間生記憶と臨死体験時のあの世の記憶との類似性について—文化的影響の観点から—」

11:40-12:00 小久保秀之 (アプレクス (特殊能力応用研究所)・明治大学)

「金縛りと死者気配 (幽霊体験) の体験率の時代不変性は何が原因か？」

12:00-12:20 橋本和哉 (はしもと内科外科クリニック)

「量子物理学で読み解く生命理論とその応用」

12:20-13:40 昼休み

12:45-13:25 理事会 (会場：3410 教室)

大会 1 日目 (11 月 30 日 (土)) 午後

特別講演・シンポジウム

テーマ：「カガクにおける“計測”の意味」

【司会：須田斎（東海大学）】

13:40-14:40 特別講演

藤野正寛（京都大学）

「瞑想の体験的理解をカガクする」

14:50-16:50 シンポジウム

（一 気（サイ）や精神エネルギーは物理法則に従う現象を引き起こすか？）

小久保秀之（明治大学）

「生体センサの開発による気の定量測定」

高木治¹⁾、坂本政道²⁾、世一秀雄¹⁾、河野貴美子¹⁾、山本幹男¹⁾

1) 国際総合研究機構（IRI）、2)（株）アクアヴィジョン・アカデミー

「ピラミッド型構造物の潜在的な力」

須田斎（東海大学）

「私が関わった2つの生命現象の研究から“計測”の意味を考えてみる」

総合討論（藤野・小久保・高木）

17:30-19:30 情報交換会（4号館2階食堂）

大会2日目（12月1日（日））午前

9:10-12:00 会員企画セッション

山野隆（山野医院、（一財）チ楽協会）、堺澤辰弥（堺澤辰弥鍼灸院）、

早水丈治（鍼灸院・SAYURI、ハーブサロン・さゆり）、佐藤啓（竹村医
院）、内田匠治（九州看護福祉大学）、鮎澤聡（筑波技術大学）

「チ楽・イ楽でイノチに迫る

～ 現実結果の出る規則性（チ楽）と現実結果の出ない規則性（イ楽）～」

12:00-13:40 昼休み

12:30-13:30 会員総会・湯浅賞授賞式（会場：3410 教室）

大会2日目（12月1日（日））午後

13:40-16:10 公開シンポジウム

【司会：守屋治代（東京女子医科大学）】

テーマ：「生老病死（いのち）の理解を現場から深める」

萩尾信也（毎日新聞）

「心のアンテナ 一生と死を巡る取材現場から」

夏苺郁子（やきつべの径診療所）

「人の回復には、締め切りはありません。

～死を思い詰めた精神科医からのメッセージ～」

総合討論（萩尾・夏苺）

16:10-16:15 人体科学会会長挨拶

鮎澤聡（筑波技術大学）